Kakehashi いさはや

2020 **創刊号**

令和2年10月発行



住み慣れた地域で いつまでも自分らしく暮らす

平成27年に介護保険の地域支援事業に位置づけられた、 「在宅医療・介護連携推進事業」。

諫早市ではどのような取組みが行われているのか、高 齢介護課の方々にお話を伺いました。



諫早市高齢介護課 認定・包括ケア班 中村拓哉氏 中島梨奈氏 蠣崎幸恵氏(主任) 濱うらら氏 三宅亜希子氏(主任) 坂下久美子氏 平野加奈氏

地域包括ケアシステム

高齢になって医療や介護が必要な状態になっても、 住み慣れた地域で自分らしく、安心して最期まで暮ら し続けられる地域づくり。これが「地域包括ケアシス テムの構築」です。

そのため、「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」 「住まい」のサービスが一体的に提供される仕組みづくりを最重要の取り組みとして、進めていく必要があります。

在宅医療・介護の連携

5年程前から「医療と介護の連携」という言葉が盛んに使われ、重要性が広く認知されてきました。

なぜ医療と介護が連携する必要性があるのでしょうか?

諫早市では、2025年には人口が132,739人、65歳以上の人口が42,181人(高齢化率31.8%)、団塊の世代が75歳以上になる後期高齢者は23,294人(17.5%)と推計されています。

医療や介護を必要としている高齢者の方が、住み慣れた地域で在宅療養・生活ができるよう、ともに連携し、支援していく必要があります。

厚生労働省が定めた「在宅医療・介護連携推進事業」 は、下記の8項目となります。

- ①地域の医療・介護の資源の把握
- ②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- ③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の 構築推進
- ④医療・介護関係者の情報共有の支援
- ⑤在宅医療・介護連携に関する相談支援
- ⑥医療・介護関係者の研修
- ⑦地域住民への普及啓発
- ⑧在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

諫早市におけるこの事業は、諫早医師会をはじめと した多職種関係団体等による「諫早市在宅医療介護連 携推進会議」において協議・検討されます。

これまでに「諫早市入退院支援連携ガイドブック」 を策定し、現在、医療機関・介護支援専門員の方々に 利用していただいています。

また、在宅医療と介護が一体的に提供される体制の 構築を支援するため、在宅医療のコーディネート拠点 として、「諫早市在宅医療・介護連携支援センター(か けはしいさはや)」を設置し、地域の医療・介護サービ スを提供する多職種・他機関の連携強化を図るなど、 地域包括ケアシステムの充実・強化に向けた取り組み を推進しています。

コロナ禍でも……

今後は、新型コロナウィルスの感染状況を鑑み「新 しい生活様式」に対応した事業を進めていかなくては なりません。

事業を展開していく中で、これからしばらくは、常にコロナ対策も一緒に考えて、一つひとつ取り組んでいきます。

地域包括ケアシステムの実現に向け、関係機関の皆様からいただいた、活発なご意見を参考に"かけはし

いさはや"と協力し、必要な事業の実施に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



諫早の在宅診療の現状について

諫早医師会 在宅医療担当理事 美南の丘クリニック 院長 松尾 彰 先生

諫早市が在宅医療介護連携推進協議会を設けてから、 すでに6年が経過しようとしています。かけはしいさ はやができてから2年が経過しました。諫早の在宅医 療は、どのような方向を見ているのでしょうか。

診療所の先生方の間では、おおむね在宅診療に対しての、考え方が3段階あるようで、①自分が診てきた患者さんだけは、最後まで診ましょうと言われる先生、②外来だけで手いっぱいなので、在宅診療は最初からしませんと言われる先生、③そうした患者さんまでも在宅で引き受けていただける先生方に分かれているように思います。また在宅医のほとんどは、総合的に診療をしてくれる内科や外科の先生方ですが、知識が足りなかったり、診療器具のない専門科目に対して、その

科目の先生方の協力も 欠かせないものと思われます。

諫早市の在宅医は足りているのかと言われれば、今のところ何とかひっ迫はしていないように思えます。ただし、今後の人口動態の



変化を見れば、在宅医療を受ける人数は、2040年ころまでは増えていく一方であり、在宅医療を担っていただいている先生方も多くは高齢化が進み、思うように動けなくなり、さらに働き方改革で、24時間体制での診療はできにくくなっています。医師だけの力だけでなく、その他の医療職(薬剤師、看護師、理学療法士、歯科医師)や介護職(介護士、介護支援専門員、社会福祉士)がともにスムーズに連携を取り合い、お互いの労力を増やすことなく、協力していくことが求められています。

また、急性期のベッドはそれほど増えることはないようですが、自宅と地域包括病床へ往復する患者さんは、相当増えてくると思われます。特に老々介護や、独居老人、さらには、閉じこもりをする成人患者の在宅医療、障害のある小児への在宅医療など、高齢者問題だけでなく、様々な場面に対応することが求められていきます。かけはしいさはやは、こうした多職種連携がスムーズに行えるように設立されました。

個々の事業所や医療機関が多くの問題を持ち寄って、話し合い解決する場所として活かしていただければ、幸いです。

^{令和2年度} 在宅医療介護連携推進会議が開催されました

2020 7/ 16

初めに、諫早市在宅医療・介護連携推進事業について、今後の方向性等、事務局である高齢介護課より説明がありました。

その中で一つの大きな柱として、ACPワーキンググループを発足し、諫早市でどのようにACPについて取り組んでいくのか、今後検討されることになります。(※ACP…もしものときのために、自らが望む医療・ケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組み。)

医療現場では取り組みが進められているところもあるようですが、介護の現場でも看取りをおこなっているところではお困りになることもあるのではないでしょうか?「どんなふうに最期を締めくくりたいかー緒に考えませんか?」とそんな風に声をかけられるよう、皆さんとACPの理解を深めていければと思いました。

また、会議の中でオンライン、リモート、Webといった言葉が、委員の皆さんからも出ていました。これまでと違い、「コロナ禍でできること」をそれぞれが模索・研究し、新しい生活様式にも対応した、在宅医療・介護の新しい連携の形を見つけて進めていきたいです。

会議では出席者はマスク着用、距離をとった座席配置、30分毎の換気、マイク使用後はその都度消毒する

など、感染対策もしっかりとられていました。このような会議が日常になっていくのだろうなと感じました。

諫早市在宅医療介護連携推進会議とは?

多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制の構築を推進するために設置されています。



構成団体 諫早医師会・諫早市歯科医師会・諫早市薬剤師会 諫早総合病院・長崎県訪問看護ステーション連絡協議会 長崎県医療ソーシャルワーカー協会

長崎県老人福祉施設協議会県央ブロック施設代表者会 長崎県老人保健施設協会・諫早市グループホーム連絡協議会 長崎県介護支援専門員協会諫早支部

諫早市地域包括支援センター運営法人代表者会議・県央保健所 諫早市健康福祉部

諫早市在宅医療・介護連携支援センター かけはし いさはや

諫早市の在宅医療・介護連携の推進のため、平成30年 8月に健康福祉センター内に開設しました。

センターの主な活動内容は、

- ①市内の医療・介護に関する情報の発信
- ②「顔の見える関係づくり」多職種研修会
- ③医療・介護の連携に携わる関係者からの相談支援 例:「在宅支援診療所を教えてほしい」 「市内で転所できる施設を探している」
- ④地域住民への普及啓発市民講演会・お気軽座談会の開催
- ⑤有効な取組事例の研究市内外の取組事例の情報収集・研究他都市の先進的な取組、普段の業務で実践している効果的な取組 等です。

医療・介護に従事される皆様には、新型コロナウィルス感染症という不安を抱えながらも、たゆまぬ努力をなさっていることに感謝申し上げます。このコロナ禍でも医療・介護の様々な専門職の方々がスムーズに連携を進められるような仕組みづくりを模索していきたいと思います。

『コロナ禍時代の連携』これが当面のテーマになりそうです。

この情報誌「KAKEHASHI いさはや」は多職種に向けて自らの情報を発信し、互いに理解を深め、顔の見える関係を築くための連携ツールとして、年3回の発行を予定しております。情報誌へのご意見・ご要望がありましたら、お知らせください。今後とも、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



(左から)

野口 正寛(主任) 川端 奈津美(保健師) 山口 彩(事務)

Information

当センターのホームページに、市内の医療・介護 事業所等のリスト、センターの活動内容や「お気 軽座談会」の報告を掲載しています。

有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅・ 認知症グループホーム・軽費老人ホームについて は、各施設のご協力をいただき、詳細な情報を掲

載しています。 冊子にして手持 ち資料としての 利用など、ぜひ ご活用ください。





オンライン研修のお知らせ

かけはしいさはやでは、Zoomを使ったオンライン研修を企画しています。

研修参加にあたっては、PCやスマホ、 タブレットに Zoom アプリ をインストールしていただく必要があります。

かけはしいさはやも Zoom 初心者です。この機会にぜひ、一緒にオンライン研修を始めませんか?

研修案内はチラシ、ホームページ等でお知らせいたします。



諫早市在宅医療・介護連携支援センター かけはしいさはや

〒854-0061 諫早市宇都町29-1 健康福祉センター内 TEL:46-3166 FAX:46-3167

E-mail: isahaya.zaitaku.renkei@iaa.itkeeper.ne.jp

URL: https://kakehashi-isahaya.com/

